まえがき……1

I 狂言の家に生まれて……9

1 大蔵流山本東次郎家—武家式楽の伝統を継ぐ……10
山本舞台と東京渡辺銀行／杉並能楽堂について

2 山本家代々の熾烈な生き様……21
原点—初世山本東次郎／三世東次郎の誕生／『わらんべ草』の教え／『わらんべ草』の伝統を継ぐ

3 時代の転換期に生まれて—四世東次郎の誕生……38
五歳五月五日の初稽古／小舞『盃』について／初シテ／山本家の跡取りとして／靭猿・伊呂波・痿痺

4 戦時色……51
空襲警報—戦火のなかで／爆撃を逃れての帰宅／昭和二〇年三月一〇日 東京大空襲—死と隣り合わせの稽古

5 学童疎開……60
ラジオの子／雲雀とり

6 終戦後の稽古……63
蝶との出会い／父の蝶への理解

Ⅱ 継ぐということ …… 71

1 伝統を守る …… 72
繰り返される稽古／父の禁止令

2 名人の舞台から学ぶ …… 79
絶句ということ／いい気になるな／人間国宝の方の謙虚さ／規範の存在

3 立合勝負 …… 90
立合勝負―舞歌二曲

4 少年時代の語りの稽古 …… 93
語りの稽古の順番／舞台掃除の大切さ／舞台空間における結界

5 相伝の厳しさ …… 101
伝える厳しさ―『附子』の稽古／祖父が父にした『狐塚』の稽古

6 一調二機三声 …… 107

7 父が教えてくれたこと …… 110
日本人としての誇り／子を育てる―父の信条

8 声変わり・腰高のころ …… 115
声変わりについて／究極の「気をつけ！」／猫のようにひそやかに後ろにまわる父／稽古のための稽古

Ⅲ 父と子……123
1 『三番三』……124
『三番三』の披き／別火／「狂言風流」
2 迷いと葛藤……135
狂言をやめます！／夕暮れどきの墓参／家の子―科学の眼・狂言の眼／親父の背中―父との絆
3 『宗論』の思い出……142
慢心の戒め／装束をたたむ―全身全霊でたため／けなされることは我慢出来る／おまえはちゃんとした畑になれ
4 いよいよ『釣狐』を披く……149
『釣狐』
5 間狂言……156
順序立てられた間狂言の稽古／山本家における間狂言の位置／型の美しさ／頭から離すな
Ⅳ 親父の眼……167
1 見た目と内実……168
名人の芸
2 三世東次郎の間狂言への思い……171
間不要論への対抗／那須の語り／語りの面白さ

3 **融通無礙の境地** …… 177
自在な境地／「型」の宝庫—山本家の面白さ／芸の生き死に
4 **開眼—粟田口の場合** …… 182
粟田口の場合／アドリブについて／大蔵流茂山家との芸風の違い／無心で演じる—『武悪』の場合／地味な味わいが山本家の正統
5 **『花子』** …… 193
『花子』—極重習の稽古／親に最後に殴られた『花子』の稽古
6 **三老曲の習いについて** …… 197
三老曲—『庵梅』・『比丘貞』・『枕物狂』
7 **老いの境地** …… 202
親父の眼
近代能楽略年表 …… 208
狂言の流派 …… 216
あとがき …… 218

編集協力……㈱翔文社
本文組版・装丁……大賀デザイン事務所（大賀伸樹・伊藤庸一）